

令和7年第6回清瀬市教育委員会定例会会議録

令和7年第6回清瀬市教育委員会定例会が令和7年6月25日(水)午前9時30分に招集された。

出席委員、議事の大要は次のとおり。

1 日 時 令和7年6月25日(水)午前9時30分

2 場 所 研修室1 (教育委員はオンライン参加)

3 付議案件 別紙議事日程のとおり

4 出席委員 坂田篤 (教育長)

宮川保之 (教育長職務代理者)

(欠席) 尾崎啓子 (委員)

鈴木美紀 (委員)

中村清人 (委員)

5 事務局 南澤志公 (教育部長)

大島伸二 (教育部参事兼教育指導課長)

大野英武 (教育企画課長)

宮野将史 (教育指導課教育支援担当課長兼統括指導主事)

古川百香 (生涯学習スポーツ課副参事)

山口由希 (図書館長)

横井路彦 (指導主事)

久保淳 (指導主事)

6 書記 鈴木和也 (教育企画課主任)

令和7年第6回清瀬市教育委員会定例会

令和7年6月25日（水）

研修室1（清瀬市役所本庁4階）

定例会

日程第1	会議録署名委員の指名（宮川職務代理者）	
日程第2	教育長報告	
日程第3	教育委員報告	
日程第4	議案事項15 第3次清瀬市教育振興基本計画の策定について 教育企画課長	教育企画課長
日程第5	議案事項16 清瀬市学校運営協議会委員について	教育指導課長
日程第6	報告事項1 令和6年度水泳指導アンケートの結果について 教育企画課長	教育企画課長
日程第7	報告事項2 教育課題協議会報告について	教育指導課教育 支援担当課長
日程第8	報告事項3 小中連携教育推進委員会報告について	教育指導課教育 支援担当課長
その他		

議事の日程並びに議事の大要並びに議決事項

開会

坂田教育長が開会を宣言

日程第 1 会議録署名委員の指名（宮川職務代理者）

宮川職務代理者を指名

日程第 2 教育長報告

- 坂田教育長 5月28日に教育課題研究会が行われた。学校運営協議会の会長と校長に参加していただき、コミュニティ・スクールについて情報交換を行った。
- 5月28日に熱中症研修を行った。研修を本番のように行うかが重要であると考えている。アレルギー研修や災害研修等の様々な研修を行うが、子供たちの命を守ることと心して取り組んで欲しい。
- 5月31日に中学校の運動会が予定されていたが、雨天のために中止となった。運動会の様子は指導主事より報告する。
- 横井指導主事 6月2日に清瀬中学校の運動会を見学した。短距離走で1人1人の名前が呼ばれた際に大きな声で返事をしており、子供たちが積極的に取り組んでいる姿を拝見した。
- 6月6日に清瀬第五中学校の運動会を見学した。生徒の応援席にはテントを設置して熱中症対策がされていた。応援団の応援では子供たちが楽しそうにはきはきとした姿を拝見できた。
- 久保指導主事 5月18日に清瀬第三小学校の運動会を見学した。児童が自主的に行動する姿が拝見できた。暑い中の開催であったが、こまめに水分補給を行い熱中症対策がされていたと思う。
- 坂田教育長 6月7日に中学生の国内派遣事業で企画立案提案指導をJTBの方に行っていただいた。
- 古川生涯学習スポーツ課副参事 5月下旬から6月中旬の期間に国内派遣事業のプレゼンテーション審査会へエントリーを希望する生徒に向けて、JTBによる企画立案支援を3回行った。6月28日にプレゼンテーション審査会を行い、最終的には1グループを選出する。教育委員には参加が可能であればオブザーバーとしての参加をお願いする。
- 坂田教育長 6月10日から12日にかけて清瀬市議会の一般質問が行われた。13名の委員の方から23項目の質問があった。
- 南澤教育部長 一般質問の内容として最も多くあげられたものは図書館についてであった。公立図書館と学校図書館についてそれぞれ質問があった。その他の質問としては、学校徴収金、立川市の事件を受けての学校の安全対策、南部児童館等の複合施設の指定管理の内容、部活動、通学路の安全対策、

	国語教育の充実等の質問をいただいた。
坂田教育長	6月14日に図書館事業の読書交流会が開かれた。
山口図書館長	第27回の読書交流会が開かれた。郷土博物館学芸員より「歴史から読み解く富士山」というテーマで講演を行い、市内にある中里の富士塚についても紹介があった。過去最多の24名の参加があった。
坂田教育長	6月18日に清瀬第八小学校への教育委員会B訪問に参加した。
	6月19日に芝山小学校への教育委員会A訪問に参加した。
	6月20日に教育委員と校長による二者懇談会を開催した。尾崎委員、清瀬第十小学校鈴木校長、清瀬第三小学校水野校長が参加した。家庭・学校・地域の役割について議論した。

日程第 3 教育委員報告	
中村委員	6月1日から6月7日にドイツへ視察を行った。内容については教育委員会で共有したいと思う。
鈴木委員	6月19日に芝山小学校への教育委員会A訪問に参加した。校長先生、副校長先生と地域の方と話し合いを行った。以前に勤務していたころから地域の方に協力してもらいながら学校運営を行っていた。新しい取り組みを行い、これまで以上に地域との連携が進んでいくと感じた。話し合いでは絆というキーワードが取り上げられた。子供たちが自信を持っていないことが課題であり、教員が子供たちに自信を持たせるような教育を行うことが大切であると思う。
	教育委員会定例会の後、清瀬市の教育研究会の国語部会に参加する予定である。
宮川職務代理者	市内にあるすべての中学校の運動会を拝見した。清瀬中学校では短距離走を行う際に生徒一人一人の名前が呼ばれて大きな声で返事をしており、声や姿勢から自己存在感を表現していることが感じられた。校長先生が生徒に対して人として対等であるが、校長としての職務もあるので状況によって立場は異なるという姿勢を示していた。
	清瀬第二中学校では準備運動としてラジオ体操やストレッチを行っており、生徒のけが防止や体力向上にもつながるような準備ができていたと思う。
	不審者対応訓練は非常通報装置を用いた訓練を行ってほしい。さすまで不審者を抑え込むのは複数人でないと難しい等、実際に訓練してみないと実感できない部分もあるので実践的な訓練を行う必要がある。

日程第 4 議案事項 15 第3次清瀬市教育振興基本計画の策定について	
大野教育企画課長	第3次清瀬市教育振興基本計画検討委員会設置要綱の第2条の規定に基づき、教育長から検討委員会へ諮問を行う必要があるため、諮問文の議決をいただきたい。
坂田教育長	諮問文については教育長名で検討委員会の委員長宛てに作成してい

	る。
宮川職務代理者	現行の計画の5つの柱から3つの柱に整理する意義や戦略的な視点を言語化して検討委員会の委員の方にも説明をすることが必要だと思う。 3つの柱の相互効果について、何を期待しているか。 自他の生命を尊重できる実行力が3つの柱に含まれてくると思うが、その内容が計画全体で意識した内容になる必要があると思う。 これからの中等教育として思考力や表現力をどのように発展させていくか、AIやデータの活用についても示していく必要があると思う。 データに基づいた現状分析等が必要である。どのようなデータや情報を提供して目標設定を行っていったのかも教育委員へ情報提供していただきたい。 これからは個別最適な学びや協働的な学びをどう融合させていくかが問われてくるので、その点を示した計画となる事を期待する。
中村委員	諮問文の内容については賛成である。 幼児教育についても計画に含めていっていただければと思う。
鈴木委員	5つの柱を3つに減らした場合に、これまでと比べて抽象的な表現になり、浸透しづらいものになってしまう可能性もあるので、できるだけ具体的な表現として伝わりやすいものにしていただければと思う。
坂田教育長	子供たちの自己肯定感や信頼関係を築き上げていくためにも子供たちを支える保護者も支えていくような計画としていってもらいたい。 子供たちにも伝わるように分かりやすい簡易版を作成する予定である。 子供たちの意見を直接受けとめて計画の策定に反映させていくようにしたいと考えている。
各委員	議案事項15について、提案通りに同意することに異議はないか。 異議なし
坂田教育長	本件については原案の通り承認とする。

日程第 5 議案事項 1 6 清瀬市学校運営協議会委員について	
坂田教育長	議案事項1 6 については個人情報に抵触する可能性がある。清瀬市教育委員会会議規則第10条に基づき非公開とすることに異議はないか。
各委員	異議なし
坂田教育長	議案事項1 6 については非公開での取扱いとする。

日程第 6 報告事項 1 令和6年度水泳指導アンケートの結果について	
大野教育企画課長	令和6年度から民間施設における水泳指導を新たに実施した清瀬第三小学校、清瀬第六小学校、清瀬第七小学校、清瀬第八小学校、清瀬第二中学校、清瀬第三中学校の6校に水泳指導に関するアンケートを行った。 民間施設でプール指導を行ってよかったですという設問ではそう思う、ややそう思うという肯定的な回答が約93%となっており、肯定的な意見の理由にはプールの水がきれい、授業が楽しい、補助の先生が泳ぎ方

	をわかりやすく教えてくれる、自分の泳力にあった練習ができるという理由が多く上がっている。
鈴木委員	水泳授業を通じて、自分の泳力が向上したと思うかという設問ではそう思う、やや思うの回答が小中学校共に8割を超えてい。
大野教育企画課長	民間施設でのプール指導に対して肯定的な回答が多く、良い取り組みであったと感じているが、否定的な回答のうちで移動時間がかかるや着替えの時間が短い等の予測ができる回答以外にその他で回答された意見にも着目して改善をしていっていただければと思う。
鈴木委員	否定的な回答の理由でその他になっている回答としては、そもそも水泳が好きでないという意見等がある。次回以降のアンケート集計には例示することを検討する。
坂田教育長	そもそも水泳が好きではない子供にも民間施設でのプール指導でよかったですと思えるように取り組めると良いと思う。
大野教育企画課長	水泳指導に関しては教育企画課だけでなく、教育指導課とも連携して取り組んでいきたい。
中村委員	着替えの時間が短いという点については何か対応策はあるのか。
大野教育企画課長	現在は水泳指導の時間を確保するため、学校で休憩時間に着替えを行い、バスで移動を行うようにしている。日程を多く確保する等の工夫を行いたいと思う。
大野教育企画課長	今年度から全校で行うようになっているということなので過密スケジュールになっている部分はあると思うが、水泳指導の質が下がらないようにしていただければと思う。
宮川職務代理者	来年度について、事業者とカリキュラムを調整している。校長会とも連携を行い適切な指導を行えるように進めていく。
坂田教育長	その他にある少数意見も取り入れられると良いと思う。 質問項目間の関係を整理することで解決策を見つけるにつながると思う。
	これまでの学校での水泳指導との比較ができるような分析ができるよ良いと思う。
	データ分析を行って教育の指導の改善に繋げていくことが求められてくると思う。大学等の研究機関との連携も必要になってくると考えている。

日程第 7 報告事項2 教育課題協議会報告について

宮野教育指導課教育支援担当課長 5月27日に市内の小中学校校長と各校の学校運営協議会代表者で協議会を行った。中学校区ごとに分かれて協議を行ったが、第四中学校区には導入済みの学校がなかったため、清瀬第七小学校が第四中学校区のグループに加わった。昨年度の取り組み内容と成果や今年度の取り組みについて協議を行った。

実施後にアンケートを行い、参加者の9割が理解が深まったとの回答

	だった。
中村委員	成果だけでなく実際に取り組みを行った際の課題についても共有することができた。
鈴木委員	他の学校と情報交換は勉強にもなると思うので今後も続けていっていただければと思う。
宮川職務代理者	成果だけでなく課題の共有ができたことが良いと思う。課題をどう解決していくかは地域ごとにも異なってくると思うので、それも共有していければと思う。
坂田教育長	第四中学校区の協議内容で道徳授業地区公開講座を活用してはどうかと記載されているが、道徳授業地区公開講座は参加者が減少傾向にあるため地域との連携を行いながら解決していく課題でもあると思う。
大島教育指導課長	現在開かれている清瀬市議会で、コミュニティ・スクールの内容の質問もされている。 清瀬市議会では2点のご意見をいただいている 1点目が完成イメージの共有のために他自治体の成功事例を示してほしいという内容である。 2点目が周知していく取り組みが必要であるという内容である。 完成イメージについては、設立から16年を迎えた鳥取県の南部中学校の事例を紹介した。長期間の視点を持つことと当事者意識を持って進めていくことが重要であるという内容の紹介をした。 周知については学校支援本部が独自のホームページ作成を行っている学校もあり、今後も様々な方法で周知していく予定である。
坂田教育長	コミュニティ・スクールは軌道に乗るまでに10年かかるとも言われており、時間をかけて進めていかないといけない取組であるが、時間をかけて進めていくことでマンネリ化や形骸化していく懸念もある。常に新しい情報提供等を行いながらマンネリ化や形骸化しないように進めていきたいと思う。
宮川職務代理者	学校運営協議会の方からのお話を情報共有することや子供たちの様子を見てから議論を行うこと等の工夫をしながら進めていくことが必要である。
坂田教育長	理念だけでなく特定のテーマを設けた話し合いを行ったり、道徳授業地区公開講座については学校運営協議会の方々との話し合いの場を設けるようにしたりと具体的な取組を進めていくことが必要になると思う。 教育委員会A訪問の際に学校運営協議会の方にも同席いただき情報共有を進めていければと思う。

日程第 8 報告事項3 小中連携教育推進委員会報告について

宮野教育指導課教育支援担当課長
指導主事より報告を行う。

久保指導主事	昨年度に続き各中学校区に分かれ、実践的な研究を通して取り組みの充実を図る。今年度は市が育みたい資質を基に各グループで検討した育てたい児童・生徒像、具体的な取り組みに加えて成果指標を追加している。国や都の学力調査やアンケート等の具体的な数値を用いて効果の検証を行い、2月にまとめて報告を行う予定である。1月31日に開催される清瀬市教育フォーラムの第2部として、各グループの取り組み内容や効果検証について発表を行う予定である。
鈴木委員	中学校区によって、育てたい児童・生徒像に関して1項目のグループもあるが3項目のグループもあり、いくつもの目標を立ててしまうと取り組みにぶれが生じてしまうのではないかと思う。
	各部会に所属している教員がそれぞれの学校へ情報や取り組みを広げていくことが必要になると思う。
宮野教育指導課教育支援担当課長	各部会で話し合った内容は各学校で共有できるように指導していきたいと思う。育てたい児童・生徒像は市の育みたい資質を基に作成いただいており、市の育みたい資質が5つになっているため、それぞれの内容について育てたい児童・生徒像を設定したグループもあれば1つにまとめたグループもある。目標を複数設けることで取り組みがぶれていかないようにしていきたいと思う。
鈴木委員	実際に取り組みながら修正を行い進めていけると良いと思う。昨年度に比べて進んでいっていることは良いことだと思う。
坂田教育長	学校教育目標と育てたい児童・生徒像は連動していく内容である。学校教育目標を一朝一夕に変更することはないと思うが、それぞれの内容を反映させながらプラッシュアップして指導を行っていってほしい。
宮川職務代理者	小中で育てたい児童・生徒像を共有することは望ましいと思う。それを日常の指導でどのように反映させていくかが重要である。
坂田教育長	学校教育目標は数年で見直しを行うことも一つの方法だと思う。 枠組みは教育委員会から指導しても内容についてはそれぞれのグループごとに決めていくようにしている。部会についても各グループの考え方による分け方をしていて、それぞれの特色をふんだんにした内容となっている。時間をかけて小中連携の形を整えていきたいと思う。

閉会

坂田教育長が閉会を宣言

閉会 午前11時30分

上記のとおり会議の顛末、大要を記し相違ないことを証する。

清瀬市教育委員会

教 育 長

教 育 委 員